

八代市デジタル化推進基本計画アクションプラン

※予算が確約されていない取組みも含まれており、内容については変更の可能性があります。

公表用

各事業の中でも短期的・重点的に取り組む事業

デジタル田園都市国家構想交付金事業のデジタル実装タイプ（デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向け、事業立ち上げに必要なハード／ソフト 経費を支援）に採択を受けた事業。※従来のデジタル田園都市国構想推進交付金事業も含む。

地方創生推進交付金（地方の人口減少に歯止めをかけ、人口の東京一極集中を是正し、日本全体の活力を上げることが目的とする）に採択を受けた事業。

地方公共団体の自主性と創意工夫を重視し、より包括的な地域づくりを支援するための事業。（2024年10月に「地方創生2.0」の一環として創設され、従来の「デジタル田園都市国家構想交付金」を改称・拡充したもの）

No	分野	施策名	重点	デ ジ タ ル	地 方 創 生	第 二 世 代	具体的な取組	取組概要	スケジュール			
									R4	R5	R6	R7
1	防災	住民の自発的な避難を後押しする「デジタル避難スイッチ」の導入	★				「デジタル避難スイッチ」の導入	各種啓発活動やYahoo防災速報アプリに代表される既存の防災アプリ等を活用し、平時から避難のタイミング（基準）や避難場所を選定するなどの避難行動計画の作成を支援します。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
2	防災		★				災害関連情報の集約サイトの構築	自分事化しづらい避難情報や気象関連情報等を集約し、個人や地域ごとに最適な災害関連情報を閲覧できるサイトを構築します。災害前には、ハザードマップや気象情報、河川状況、土壌水量の状況などを提供し、災害時には周囲の避難状況、道路状況などの被害関連情報も提供するなど、住民の避難行動を支援します。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
3	防災	準天頂衛星等を活用した安否確認システムの導入	★				「Q－ANP I」実証実験	衛星安否確認サービス（Q-ANPI）を災害時に孤立が想定される地域（避難所）や各支所に配備し、避難所運営職員への機器操作方法を訓練し、安否確認手段としての有効性を検証します。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
4	防災		★				電源ユニットを活用した通信機器の運用	電源供給が必要な「衛星安否確認サービス（Q-ANPI）」や「衛星携帯電話」の配備にあたり、配備先の条件に則した最適な電源供給体制を構築するため、電源ユニット（Re-Q）や蓄電池等による給電の実証を行います。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
5	防災	災害情報共有システムの構築	★				災害関連情報等をリアルタイムに表示できるシステムの構築	令和３年度に導入した「災害時支援システム」を介して災害情報（救出救助情報・道路情報等）を消防や警察、自衛隊等の防災関係機関とリアルタイムに共有するため、システム設定を行います。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
6	防災	スマート避難所の導入	★◆				避難所生活の質の向上と、運営要員の削減を目的とした仕組みの導入	L I N Eの登録やQRコードを活用し、避難者への迅速な情報提供と支援者側への横断的な情報共有を目的とした双方ともに手間が少ない「スマート避難所システム」を構築します。また、市が主催するイベントや各種講座等の申込み・受付管理が行える機能も実装することで、平常時にも活用できるシステム構成とします。	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
7	市民サービス	マイナンバーカード申請手続の利便性向上	★				マイナンバーカードのオンライン申請専用タブレットの導入	専用のタブレット端末を使用し、顔写真の撮影からオンライン申請までワンストップで行うものです。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
8	市民サービス	マイナンバーカードを活用したオンライン申請システムの導入	★				マイナンバーカードを活用したオンライン申請システムの導入	住民票、印鑑証明書等の申請手続をスマートフォン（インターネット）により行うことができるオンライン申請システムを導入します。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
9	市民サービス	公共施設のオンライン予約管理システムの導入	★				公共施設のオンライン予約管理システムの導入	各コミュニティセンターや学校体育施設等、公共施設の予約や空き状況の確認、オンライン決済が２４時間使用できるオンライン予約管理システムを導入します。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
10	市民サービス	各種税や保険料等の支払へのキャッシュレス決済の拡充	★◆				キャッシュレス決済の導入	オンライン申請、オンライン施設予約などにオンライン決済を導入します。その他、キャッシュレス決済が可能な手続きの拡充などに取り組みます。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
11	市民サービス	公共施設のオンライン予約管理システムの導入	★				博物館へのW i - F i 整備	博物館施設整備事業の一環として、利用可能範囲を全館へ拡張し、ICTを活用した学習環境を整えます。			○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
12	市民サービス	公共施設等へのW i - F i 整備の促進	★				公共施設等へのW i - F i 整備	令和７年度以降のWi-Fi整備については、坂本コミュニティセンターへの設置を予定しています。これにより、各校区のコミュニティセンターへのWi-Fi整備は、令和７年度をもって完了となります。今後は、必要な箇所へのWi-Fi整備について、引き続き検討を進めていきます。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
13	市民サービス	デジタル機器等の使い方支援					スマホ教室の実施	SoftBankと連携し、市民のデジタル活用を支援する取り組みとして、月に２回実施する「出張スマホ教室」、毎週１回実施する「移動型スマホ教室」、そして基本的なスマートフォンの使い方や市が提供するデジタルサービスについて随時相談できる「デジタルサービス相談窓口」を実施します。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
14	市民サービス	人にやさしい窓口づくり					AI技術等デジタル技術の活用促進	AI技術等のデジタル技術を窓口業務等に活用し、デジタル化によるメリットを感じていただける窓口づくりを推進します。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
15	医療・保健・福祉	デジタル技術等の活用によるスマート医療体制の確立	★			●	医療MaaSの導入	令和２年７月豪雨で被災し無医地区となった坂本地域において、慢性期疾患の患者を対象に、遠隔診療車両を使ったオンライン診療やオンライン服薬指導及び薬剤配送を行っています。令和７年度はこれまでの取組を基に、引き続き医療機関等と連携して運行を行うとともに、へき地診療所である椎原診療所でのオンライン診療導入の検討を行います。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
16	医療・保健・福祉	切れ目のない子育て支援のための情報発信の充実					保育所等におけるICTを活用したシステムの導入	保育士等の業務の負担軽減など保育現場の環境整備を図るため、園児の様々な情報を記録する園児台帳を電子データで一元管理するほか、園児台帳と連動した保育指導計画や保育日誌などの作成、登降園時間の記録や集計などを自動で行う登降園管理、さらには保育施設と保護者との双方向の連絡等の機能を有する保育システムの導入を推進します。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進

No	分野	施策名	重点	デ ジ タ ル	地 方 創 生	第 二 世 代	具体的な取組	取組概要	スケジュール			
									R4	R5	R6	R7
17	医療・保健・福祉	切れ目のない子育て支援のための情報発信の充実					母子健康手帳アプリ等の導入	国の母子健康手帳の電子化については、令和7年度にガイドラインの策定が予定されており、マイナ保険証やデジタル化が予定されている予防接種事務等との連携を含め、情報収集に努めます。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備
18	医療・保健・福祉	オンライン相談システムの導入					妊娠・出産・子育てに関するオンライン相談システムの導入	生活環境の確認等も重視されることから、自宅訪問による対面での面談を基本としています。しかしながら、里帰り出産など市外に一時居住等で直接の面談が困難な場合は、オンライン相談とすることで相談者と担当保健師が顔を合わせることができ、相談者とのコミュニケーションの向上と安心感の確保に繋がるため、周知啓発を行います。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
19	医療・保健・福祉	健康づくりの支援					健康づくり応援ポイントアプリの導入	他市導入の既存アプリの活用状況を確認しながら、本市での導入を検討するとともに、マイナ保険証や健康手帳の機能との連携についても情報収集を行うとともに、健康づくり応援ポイント事業の周知や利用者の拡大に努めます。		△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備
20	医療・保健・福祉分野	地域における高齢者等の見守り活動の充実					QRコードラベルによる徘徊高齢者等の早期発見	徘徊の恐れのある高齢者にQRコードラベルを身に着けて頂き、発見者がスマートフォンで読み取ることで、家族にメール連絡が届き、早期の保護につながる仕組みを導入します。		◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
21	農林水産	稼げる農業の構築及び担い手確保に向けたスマート農業推進プロジェクト	★		●		スマート農業推進プロジェクトの実施	国の交付金が令和6年度までとなっているため、本プロジェクトは令和6年度にて完了します。令和7年度からは、新規事業にてスマート農業関連の取組を推進します。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	
22	農林水産	稼げる農業の構築及び担い手確保に向けたスマート農業推進プロジェクト	★				スマート農業の推進、担い手の確保・育成	3年間（R4～R6）取り組んだスマート農業推進プロジェクト（地方創生）に参画した市内の若手農業者が、スマート農業や農泊等の取組を推進する「一般社団法人FamLab8(※)」を設立した。今後は、当該法人と連携体制を構築するとともに、スマート農業の取組を市内農業者等へ横展開していく。 また、キーマンとなる担い手を確保・育成するために、特に若手・女性農業者の人材育成や先進事例調査研究等に対する支援を行う。 (※)10人の若手農業者等で構成され、本市農業の振興に寄与する取組（スマート農業技術や農業の魅力発信、循環型農業、農泊等）を実証・実施する団体。				○：一部実施、試行
23	農林水産	スマート林業の推進					植林作業等への大型ドローンの活用	伐採跡の植林に係る苗木やシカ侵入防止柵資材等、現在は人力により運搬を行っていますが、大型ドローンで運搬することにより、運搬に係る省力化及び効率化に取り組みます。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
24	農林水産	スマート水産業の推進			●		スマート水産業導入プロジェクトの実施	漁業が抱える課題を抽出・整理し、スマート技術やデジタル技術を活用した課題解決を図るため、実証試験を実施し、漁業収益の確保及び漁獲量の拡大に繋がるスマート水産業の導入を行います。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
25	農林水産	有害鳥獣対策におけるICT機器の導入・促進					携帯電話の通信エリア外における新たな通信システムの構築	労働災害発生リスクの高い林業現場における緊急時の通信手段を確保するため、遠距離通信システムを導入し、携帯電話圏外地域でも位置情報や緊急連絡文字情報を発信できる体制づくりを進めます。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
26	農林水産						シカの捕獲作業の効率化を図るためのICT機器の導入	植林した苗木の食害や成木の剥皮被害を与えるシカのワナによる捕獲を行うためICT機器を導入し、見回り負担の軽減や捕獲の効率化を図ります。また、携帯電話圏外地域においてもICT機器が利用できるよう遠距離通信システムを導入し、シカ捕獲範囲の広域化、効率化に取り組みます。	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
27	商工	地域企業のDX推進					先進的モデルの情報収集・共有と導入支援	DXに向け、企業において取り組み方がわからない、方策や手法がない、適切なスキルを持った人材が獲得できない、サポート企業が少ないという環境を解決するため、DXセミナーや助成金等の情報を提供します。	○：一部実施、試行	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
28	商工						港湾物流のDX促進	今後更なる成長が期待される八代港において、情報通信技術（ICT）等を活用した八代港における港湾物流の業務効率化と生産性向上を図るため、港湾物流DXの促進による、利用者にとってより使いやすく、より効率的な港づくりを目指します。	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
29	商工	DX人材育成研修への参加促進					DX人材育成研修への地元企業の社員などの参加促進	既存制度の企業の人材育成支援制度を活用し、DX人材育成研修への地元企業の参加をサポートするとともに八代圏域産業振興協議会の会員企業に向けた情報発信を行い、周知を図ります。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
30	商工	ワンストップポータル構築					求人や移住に関する情報を一元化したポータルサイトの整備	移住定住相談窓口となる地域政策課と連携し、八代市のホームページや移住定住情報サイト（web）等を活用し、求職に関する支援情報等を提供します。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
31	商工	買い物クーポン券のデジタル化等、地域通貨のDX促進					クーポン券のデジタル化及び地域通貨として流通させる仕組みの構築	他地域や民間事業者が実施している事例等を収集しながら、経済対策が必要とされる時期に迅速かつ適切に事業実施の検討ができるように体制を整えます。実施にあたっては、事業効果やコストの効率化をふまえ商工関係団体と連携するとともにデジタルデバイス（情報格差）に留意します。	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
32	商工	商業活性化に向けたECサイトの開発					買物弱者解消手法の構築	令和4年度に総務省の補助事業を活用し、郵便局・民間企業と連携して、商品の注文から配送までを行う買い物支援事業（やつしろonlineストア）の実証実験を行いました。 令和5年度以降は、実証結果等を踏まえて民間企業の独自事業として買い物支援サービスが実施されます。	◎：実施、達成、終了			
33	商工	商業活性化に向けたECサイトの開発		◆			進出企業と地元企業が連携し、地元と連携し、"よそ者視点"で本市の魅力を発信	本市の農産物等の資源を活用し、都市部の人々に求められる商品の開発や、ブランド化を図り、芸能人等を活用した情報発信を行うことで販路拡大に取組むものです。進出企業と地元企業が連携し、令和5年3月1日にインターネットショッピングサイト「ヤツシロヤ」が開店しました。	◎：実施、達成、終了			

No	分野	施策名	重点	デ ジ タ ル	地 方 創 生	第 二 世 代	具体的な取組	取組概要	スケジュール			
									R4	R5	R6	R7
34	観光	デジタル技術を活用したサイクルツーリズムの推進				●	サイクルルートマップのデジタル版の作成	サイクリングルートの利用促進に向け、引き続きHPなどを活用した周知を行います。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
35	観光	デジタル技術を活用したサイクルツーリズムの推進				●	G P S アプリを活用したイベントの実施	くまもと★みなみおれんじシーサイドライド実行委員会が開催する予定のサイクリングイベントにおいて、参加者の利便性向上や費用対効果などを踏まえ、デジタル技術の活用を検討していきます。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
36	観光					●	レンタ（シェア）サイクルのネット予約・決済システムの構築	令和5年度に導入したレンタサイクル及びWeb予約システムの利用促進に向けた周知を行います。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
37	観光	AR・VR技術を用いた体験型観光サービスの構築					回遊システムを活用したガイドツアーの実現	本市を訪問する観光客等に向けた情報発信のために「やつしろ観光dガイド」を活用するとともに、利便性向上に向けた検討を引き続き行います。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
38	観光						ARによる体験型観光サービスの実現	DMOやつしろと連携し、修学旅行生などの本市を訪問する前（旅マエ）の観光客などにARツールの活用について周知を行います。	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
39	観光	観光統計データのダッシュボード化					観光マーケティングデータの可視化ツールの導入	熊本県観光連盟と連携し、観光統計データのダッシュボード化に継続して取り組みます。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
40	観光	デジタル技術を活用した観光振興策の推進				◆	「やつしろ観光dガイド」の導入	令和5年度に、市HPとの連携及び機能の拡充した「やつしろ観光dガイド」を積極的に活用したプッシュ型の情報発信に取り組みます。	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
41	観光						日本遺産構成文化財の三次元計測によるデジタルアーカイブ化	日本遺産「八代を創造（たがや）した石工たちの軌跡」の各構成文化財の三次元計測を実施し、めがね橋の架設技術の解明や「石工の郷」八代の魅力を伝えるガイダンス用コンテンツへの活用を図ります。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行
42	交通	持続可能な公共交通サービスの実現					定額利用制度の導入	利用者の利便性向上や公共交通サービスの需要喚起を図るため、過疎地など一定区域内でのタクシー定額乗り放題のサブスクリプションサービス解禁に向けた国の動向等も踏まえながら、乗合タクシー全路線で使える共通定期や路線バスとの乗り継ぎも見据えた定額利用制度の導入について、運行主体の公共交通事業者と協議し、本市にとって最適な組合せを引き続き検討します。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備
43	交通						交通事業者へのキャッシュレス決済、AIによる予約・配車システム導入	タクシー事業者各社においては、キャッシュレス決済の導入をそれぞれ進められているため、導入状況の把握を引き続き行うとともに、配車システムの導入を希望する事業者に対して、国や県の事業支援策を案内することにより、事業者のシステム導入率の向上を図ります。また、乗合タクシーなどの運行の効率化、及び利便性の向上を図るため、AIを活用したオンデマンドシステムの導入に向け、実証実験の実施を含めて具体的な検討します。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行
44	交通						移動に活用できる資源等、人の移動に関するデータのオープンデータ化	乗合タクシーの定期便についてはオープンデータ化が完了しているため、今後は乗合タクシーの予約便についても乗降場所の位置情報を整理するとともに、各種施設情報等についてデータを整備します。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行
45	交通	新たな移動ニーズへの対応					予約システムを利用した自家用有償旅客運送の導入	自家用車を用いて有償で輸送を行う「自家用有償旅客運送」を令和5年1月から泉町の五家荘地域において新たに導入しており、その運行支援と利用促進を図るとともに、利用状況等を勘案しながら、予約システムの導入・活用について検討を行います。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行
46	交通	物・サービスの移動による利用者ニーズへの対応					サービスを利用希望者のもとに届ける（サービスの移動）	交通事業者と、その他のサービス事業者との連携のもと、交通が不便な地域や自ら移動することが困難な方に対し、生活において必要なサービスを届けられる仕組みの構築を検討します。また、五家荘地域では、自家用有償旅客運送を活用し、貨物と旅客の輸送を一緒に行う「貨客混載事業」の実装に向けた検討を進めます。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
47	行政	自治体の情報システムの標準化・共通化					「ガバメントクラウド」への対応	ガバメントクラウドへ対応するため、全庁的・横断的な推進体制の整備や、全体計画の立案など、「自治体情報システムの標準化・共通化に係る手順書」等に従い、早期に取り組みます。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
48	行政	マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大					マイナンバーカードを出退勤管理等の行政内部事務へ活用	公的個人認証法の要件を満たすマイナンバーカード読み取り方法を検討すると共に、市民サービスや行政内部事務へのマイナンバーカード利活用の拡大を図ります。	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行
49	行政	マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大	★				図書館の図書貸出へのマイナンバーカードの活用	図書館システムの更新に伴い、図書の貸出について現行の図書館カードと併せてマイナンバーカードも活用できるようシステムを導入し、市民の利便性向上を図ります。				◎：実施、達成、終了
50	医療・保健・福祉	マイナンバーカードを活用した医療費助成のオンライン資格確認の推進					デジタル庁のPMHシステムへの医療費助成に係る資格情報の登録	デジタル庁が設計開発したPMHシステムに医療費助成に係る資格情報の登録を行うことで、マイナンバーによる医療費助成のオンライン資格確認ができるようにし、受診される人や医療機関・薬局の利便性の向上と事務の効率化を図ります。			△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了

No	分野	施策名	重点	デ ジ タ ル	地 方 創 生	第 二 世 代	具体的な取組	取組概要	スケジュール			
									R4	R5	R6	R7
51	行政	テレワーク及びオンライン会議の促進					テレワーク及びオンライン会議の促進	希望する職員がいつでもテレワーク及びオンライン会議ができるよう環境整備を行うとともに、利用促進に向けた方策についても全庁的に取り組みます。	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
52	行政	セキュリティ対策の徹底					セキュリティ対策の徹底	「八代市情報セキュリティポリシー」に基づく適切な情報システムの運用体制を確保するなど適切なデータの運用を図ります。	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
53	行政	BPRの取組の徹底					文書のペーパーレス化	「デジタル市役所の視点」及び「保存・保管スペースの確保の視点」によりデータ文書による文書ライフサイクル（電子決裁等）が可能なシステムの構築及び既存文書のデータ化に取り組みます。	△：調査、検討、準備	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行
54	行政						標準化システムにあわせた業務フローの抜本的見直し	自治体の情報システムの標準化・共通化にあわせ、標準化の対象となる事務においては、システム機能にあわせた業務フローの抜本的見直しを実施します。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
55	行政			◆			電子入札システムの導入（物件供給、役務、賃借等）	電子入札システム（物件供給、役務、賃借等）の普及により事業者の入札事務における負担軽減や、入札手続きの透明性の確保（情報公開）による市民サービスの向上及び入札事務の効率化を図ります。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
56	行政			◆			契約事務のDX推進	入札参加資格申請における書類の作成・提出・受付の電子化等により、市と事業者双方の申請業務の負担を軽減し、業務コストの削減に繋がります。業者管理から契約事務の管理まで一連の契約事務にデジタル技術を活用することで、業務の効率化を図ります。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
57	行政						公用車管理システム・鍵管理機の導入	令和7年4月1日から、公用車管理システム及び鍵管理機の本格運用を実施します。システムを適正に運用し、公用車管理の効率化及び車両台数の適正化を推進します。			△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了
58	行政					■	衛星画像解析を活用した漏水調査	衛星画像解析を活用した漏水調査を実施し、従来の漏水調査に組み合わせることで、どれほど時間とコストの削減が可能になるのか検証を行います。			△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行
59	行政	オープンデータの推進・官民データ活用の推進		★		■	有用なデータの積極的な公開と市民サービスの利活用推進	オープンデータカタログサイトを開設し、令和5年10月より下記のオープンデータを公開した。 公共施設一覧、文化財一覧、指定緊急避難場所一覧、地域・年齢別人口、子育て施設一覧、公衆無線LANアクセスポイント一覧、乗合タクシー（定期便）路線データ、介護サービス事業所一覧、AED設置箇所一覧、公衆トイレ一覧、観光施設一覧	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了
60	行政			◆			被災地等におけるインフラ復旧情報のデジタルマップ化	道路・河川等の公共インフラの復旧状況をリアルタイムでデジタルマップ化し、Webやスマートフォンにて進捗状況等を市民へ情報提供します。また、発災時には道路不通箇所、交通規制等の情報発信を行います。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
61	行政						熊本県下共通のデータ連携基盤の活用	熊本県においては、各自治体が持つ防災情報や観光情報といったさまざまなデータを活用できる県下共通の「データ連携基盤」を令和5年に構築し、令和6年4月から運用を開始することとしています。 本市としても、この「データ連携基盤」を活用し、さまざまなデータを結び付けることで効率的な避難所運営や、個人に応じた観光サービスの提供など、より利便性の高い社会の実現を目指し、熊本県と協力して進めてまいります。	△：調査、検討、準備	○：一部実施、試行	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
62	行政			◆			データ連携基盤を活用したポータルアプリの構築検討	本市の行政サービスを受けられるアプリやwebサービスにワンストップでアクセスできるポータルアプリです。 行政等に関する情報は住民にプッシュ型で配信され、行政と住民間のコミュニケーションを強化するとともに、利用者の利便性を考慮し、視認性の高いデザインや機能も含め、令和7年3月からに運用を開始します。			◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進
63	教育	生涯学習・社会教育におけるデジタル化の推進					時代の変化に応じたスキルが学べるリカレント教育の推進	「Excel講座」や「はじめてのスマホ講座」等、市民が気軽に参加できる講座を開催します。人生１００年時代に向け市民が生きがいを持ち、心豊かな生活を送ることができ時代の変化に応じたスキルを学ぶことによって、就労や仕事に役立ててもらったり、日常生活にデジタル技術を取り入れ、より生活が向上するよう学びの場や機会の充実を図ります。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
64	教育						電子図書館に向けた取組	八代市立図書館では、スマホやタブレット、パソコンを通して、いつでも、どこにいても電子書籍の閲覧、貸出しができる電子図書館サービスを行っています。引き続き市民への電子図書館サービスの周知と電子書籍の充実を図ることで、多くの人が気軽に利用できる図書館づくりを進めます。また、児童生徒１人１台のタブレット端末を活用した電子書籍の閲覧・貸出しサービスについても、対象となる作品数を増やすなど内容の充実を図ります。	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
65	教育						図書館資料のアーカイブ化	市立図書館の資料で、郷土に関するものや音声データなどのうち、デジタル化の必要性があるものについては引き続き電子書籍化を図ります。	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進
66	教育						図書資料のICタグ化	引き続き新規図書資料にICタグを貼付しICシステムを活用することで、利用者のプライバシーへの配慮や貸出手続きを容易にするとともに、図書館本来の機能である利用者からの相談対応（レファレンスサービス）などを充実させ、利用者のニーズにより広く応え、図書館サービスと市民の読書活動を推進します。	△：調査、検討、準備	◎：実施、達成、終了	⇒：達成後継続推進	⇒：達成後継続推進